

2. 指標設定

成果指標	指標名	就業人口	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	22,000人			雇用の確保・創造は、地域活性化に向けた基本的な政策であるため			
活動指標	指標	a	シルバー会員数	b	新卒者の就職者数	c		d
	数値	目標	600人	目標	30人	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
就業人口	人	20,317 人	17,950 人	17,950 人
		92.4 %	81.6 %	81.6 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a シルバー会員数	人	564 人	529 人	529 人
		94.0 %	88.1 %	88.1 %
b 新卒者の就職者数	人	38 人	63 人	74 人
		126.7 %	210.0 %	246.7 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
若者を中心とした雇用の確保・創造に力を注ぐべき。
対応（改善点等）
求職者に対して情報を提供する等、雇用創造事業の成果を活用する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

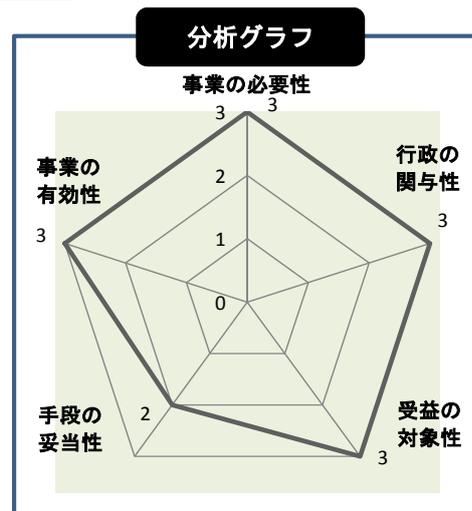
決算額（千円）	H23	H24	H25	H26	
	うち経常経費	18,963	20,320	18,980	11,197
	15,117	13,637	12,297	11,197	
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	6,728	6,022	5,418	4,922
	一般財源	12,235	14,298	13,562	6,275
うち経常	8,389	7,615	6,879	6,275	
事業費に係る人件費	2,580	4,723	4,795	7,452	
事業費に係る人役	0.60	1.10	1.10	1.68	

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
豊肥地域シルバー人材センターの補助金が、国の補助金額と同額のため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 主に若年層に対して必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 雇用の確保・創造は、これまで国・県に依存してきたが、市町村において最も重要な分野の一つである。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 生産年齢人口が対象である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 雇用状況を分析するための新たな指標が必要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標に対する達成率が高く、有効性が高い。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	引き続き、補助金交付要綱を遵守した事業を行うこと。